

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	奈良市			代表者名	仲川 元庸
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	AI活用推進課	連絡先電話番号	0742-93-3425
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	染川 実希	連絡先E-mail	
住所	630-8580 奈良県奈良市二条大路南一丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	連絡先E-mail

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	AI活用の推進
概要	全庁職員向けに以下を目的とした研修を、自治体職員目線で実施いただきたい。 ①AIリテラシー向上 ②利用方法の具体的な理解 ③庁内意識改革		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） AI活用 生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	556	令和7年8月20日	事前打合せ&支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年7月15日	講演(実地)	11時00分	12時00分	
				活動時間（分）	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・主目的であった8月25日の実地研修について、内容のすり合わせと確認が円滑に行えた。 ・都城市の運用事例が非常に参考になり、本市の実情に即した具体的な助言を得ることができた。
アドバイザーへの要望事項	引き続きご助言よろしくお願いします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	7人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	7	0	0
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果				
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本年度、本市においてAIに特化した「AI活用推進課」が新設され、生成AIの本格的な利活用が開始されたが、現時点での活用状況は、全庁職員のうち約2割にとどまっている。AI技術や具体的な活用方法に対する理解不足があるほか、AI利用者のセキュリティに対する知識・認識不足、職員間での活用に対する情報格差が懸念されており、これらの課題は、AIを活用した業務効率化推進における喫緊の課題となっている。			
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	「AIリテラシーの向上」「AIの具体的な活用方法の理解促進」「意識改革」により、AI活用が浸透し、所属課・事業単位での業務効率化を目指す。			

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①8月25日実地研修に関する支援 ②都城市の運用実例を踏まえた本市へのAI利活用推進に関する助言 ・生成AIの本格導入後における約款型生成AIの具体的な活用方策について ・議事録作成における生成AI活用の具体的な手法について、実践的なアプローチの提案 ・業務委託先における生成AI利用に関する整理方針について	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	①実地研修準備の具体化と最終確認の完了 実地研修において、レジューメに沿った座学、ハンズオン研修の具体的な内容や時間配分、会場レイアウト、事前準備物の最終確認ができた。 ②生成AIの実践的な運用ノウハウ 生成AIの先進的な導入市である都城市の活用事例の共有を受け、本市が生成AIの利活用を進める上で直面している具体的な課題に対し、運用上の知見、留意点、および実践的な活用ポイントを明確に把握することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 研修開催等に向けて、途中段階であるため具体的な成果物はない。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(E X C E L や P D F での分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 研修が未実施のため、現時点ではアンケートは行っていない。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 8月25日実地研修
4－4. 事業の最終的な目指す姿	研修を通じて職員一人ひとりがAIに関する理解と具体的な活用のイメージができ、習得した知識を各所管課へと波及することで庁全体の意識改革を目指す。AIを積極的に業務に導入・活用することで、より効率的で革新的な行政サービスを実現し、住民サービスの充実につなげる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	☐ 掲載可
------	---------------------------

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/>

なおくその他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

